

## 9. 性質別歳出決算の推移

義務的経費は、前年度に比べて約27億1千万円の増となった。これは扶助費の増と人件費及び公債費の減との相殺増によるものである。投資的経費は、約41億9千万円の減で、その他の経費は、補助費等の減等により約17億2千万円の減となった。

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、平成19年度以降、扶助費の増により増加が続いている。平成22年度においても、扶助費の増により前年度に比べて約27億1千万円の増で約498億円となり、構成比については、5.0ポイントの増となった。

投資的経費は、旧東京北部小包集中局跡地取得やリバーサイドスポーツセンター体育館大規模改修の終了などによる減と朝倉彫塑館改修の出来高などによる増との相殺により、前年度に比べて約41億9千万円の減となり、構成比は4.4ポイント減の5.3%となった。

その他の経費は、補助費等の減と他会計への繰出金の増などとの相殺の結果、前年度に比べて約17億2千万円の減、構成比は0.6ポイントの減となった。

性質別決算額

単位：百万円

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
義務的経費 (対前年度比較)	44,107 (158)	43,645 (△ 462)	43,460 (△ 185)	45,408 (1,948)	45,477 (69)	45,206 (△ 271)	45,274 (68)	45,597 (323)	47,057 (1,460)	49,764 (2,707)
人 件 費	19,113	17,804	17,190	17,158	16,696	16,848	16,701	16,077	15,900	15,860
（うち職員給）	13,076	12,512	12,021	11,642	11,397	11,154	10,748	10,807	10,507	10,312
扶 助 費	20,495	21,161	21,560	23,645	23,759	23,229	23,595	24,571	26,830	29,741
公 債 費	4,499	4,680	4,709	4,605	5,022	5,129	4,978	4,948	4,327	4,163
投資的経費 (対前年度比較)	10,987 (△ 1,257)	8,588 (△ 2,399)	6,112 (△ 2,476)	4,549 (△ 1,563)	4,608 (59)	4,350 (△ 258)	4,267 (△ 83)	8,625 (4,358)	8,793 (168)	4,600 (△ 4,193)
その他の経費 (対前年度比較)	29,150 (△ 468)	29,538 (388)	30,672 (1,134)	29,619 (△ 1,053)	30,840 (1,221)	34,552 (3,712)	35,685 (1,133)	35,584 (△ 101)	34,528 (△ 1,056)	32,807 (△ 1,721)
物 件 費	11,475	11,159	10,933	10,471	10,439	10,731	11,352	11,309	11,978	11,543
補 助 費 等	5,532	5,541	5,686	5,299	5,496	5,924	5,950	6,023	9,033	5,806
積 立 金	459	156	285	474	1,397	3,527	3,563	2,696	287	254
貸 付 金	3,575	4,138	4,132	4,062	3,931	3,915	3,903	4,392	4,023	3,967
繰 出 金	7,143	7,694	8,774	8,409	8,663	9,500	9,960	10,273	8,241	10,401
そ の 他	966	850	862	904	914	955	957	891	966	836
歳 出 合 計 (対前年度比較)	84,244 (△ 1,566)	81,771 (△ 2,473)	80,244 (△ 1,527)	79,576 (△ 668)	80,926 (1,350)	84,108 (3,182)	85,227 (1,119)	89,805 (4,578)	90,379 (574)	87,171 (△ 3,208)

※その他の経費のその他は、維持補修費・投資及び出資金である。

性質別歳出決算の推移(構成比)

